

## 教科教室制の特色を生かした確かな学力の向上

～基礎・基本の習得と言語活動の充実を通じた  
思考力・判断力・表現力の育成を目指して～



○学校名	加須市立加須東中学校
○所在地	加須市花崎1-22-1
○TEL	0480-65-2206
○E-mail	k-higashi@city.kazo.lg.jp
○URL	<a href="http://www.city.kazo.lg.jp/school/s759010/index.html">http://www.city.kazo.lg.jp/school/s759010/index.html</a>

### 1 研究主題

「教科教室制の特色を生かした確かな学力の向上」

～基礎・基本の習得と言語活動の充実を通じた

思考力・判断力・表現力の育成を目指して～

#### (1) 研究主題設定の理由

本校は、創立55年目を迎える地域に根ざした学校である。東武伊勢崎線の花崎駅に近いこともあり、昭和から平成にかけて生徒数が増加し、平成8年には加須平成中学校と分離をした。分離後は、各学年とも学級数が減ったことで空き教室ができた。空き教室を活用する方法として、本校は従来ホームルームで授業を行っていた国語や数学などの教科においても、専用の教室で学習する教科教室制をとることにした。以来、今日まで約15年以上にわたり、教科教室制による授業を実施してきた。しかし、全国学力・学習状況調査や埼玉県小・中学校学習状況調査の結果を見ると、いずれの教科も本校の平均点は全国や県の平均にわずかに及ばず、教科教室制を生かして、学力向上に結びつけているとは言い難い実態がある。そこで、平成26年度と27年度の2カ年にわたり県の学力向上推進研究委嘱を受けたことをきっかけに、本校ならではの教科教室制の特色を再度見直して、確かな学力の育成に結びつけたいと考え、研究テーマを設定した。

また、本校の生徒の学習に関する実態を見ると、「自ら学ぶ意欲が乏しい」「基礎的、基本的な学力の定着に課題をもつ生徒がいる」「多くの生徒に家庭学習の習慣化が定着していない」など多くの課題がある。

そこで、教科教室制を生かすことで生徒の学習意欲を引き出すとともに、「基礎・基本の習得」と「言語活動の充実」を通じた授業展開をすることで、思考力・判断力・表現力の育成に結びつけたいと考え、サブテーマを設定した。

## (2) 研究の具体的内容

### ア 指導方法の工夫改善（授業改善）

- ① 思考力・判断力・表現力を高める対話型、協同学習
- ② 「東中学びのスタイル」の確立
- ③ 板書の工夫
- ④ 指導と評価の一体化
- ⑤ 学習意欲を引き出すための教科教室、廊下の掲示の工夫

### イ 基礎・基本の習得

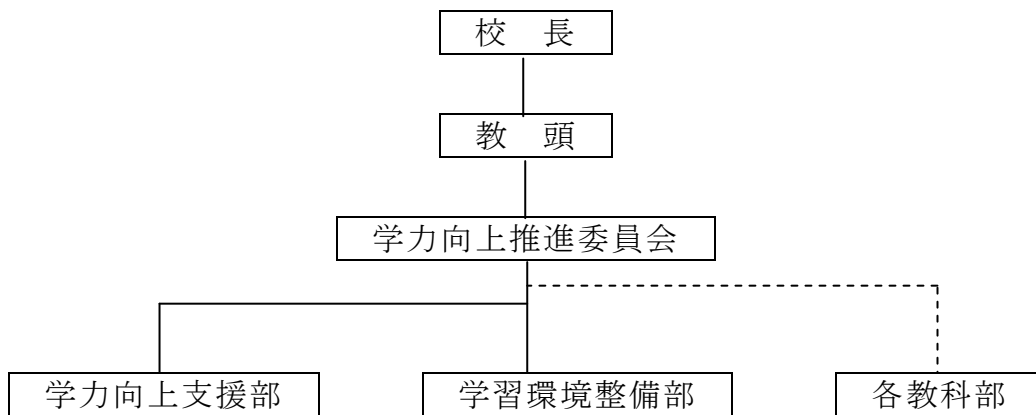
- ① 朝自習の実施（毎週 月曜日・国語、火曜日・数学、水曜日・英語）
- ② 読書活動の充実（毎週 木曜日、金曜日の朝読書、読書週間）
- ③ 「東中チャレンジ」の実施（国語、数学、英語において学期に1回）
- ④ 補習の実施（各学年における水曜日の補習、定期テスト前の補習、サマースクール）

### ウ 家庭学習の定着

- ① 家庭学習ノート
- ② 家庭との連携、啓発（通信の発行、学力向上講演会の開催など）
- ③ 家庭学習の進め方（手引き）
- ④ 宿題の出し方、確認の仕方（授業とのリンク、強化期間等）

## 2 研究の実践

### (1) 研究組織



### (2) 学力向上支援部

- ア 東中スタイルの構築
- イ 基礎・基本の習得（朝自習、学力コンテスト、3R等）
- ウ 思考力・判断力・表現力の育成
- エ 学習意欲の向上 他

(3) 学習環境整備部

- ア 学習環境、教科備品の充実
- イ 家庭学習の習慣化
- ウ 小学校との連携
- エ 家庭への啓発
- オ 実態把握等の調査 他

(4) 各教科部

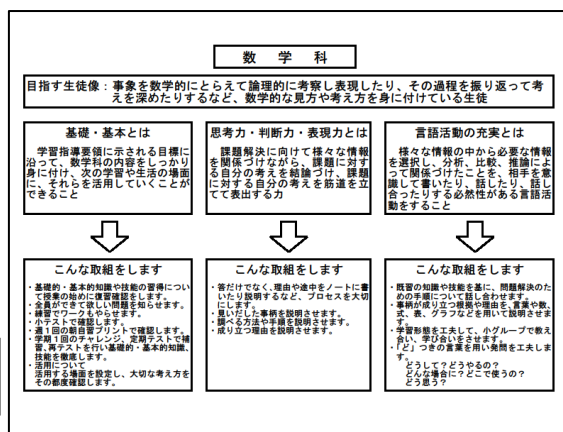
- ア 教科教室の有効活用（掲示等）
- イ 教科の特質に応じた指導法の工夫改善
- ウ 各教科における基礎・基本、言語活動の充実のあり方
- エ 宿題の検討 他

3 成果と課題

(1) 成果

- ア 教科経営グランドデザインを作成し、話し合いを行うことにより、全教科で方向性を確認し、研究を進めることができた。

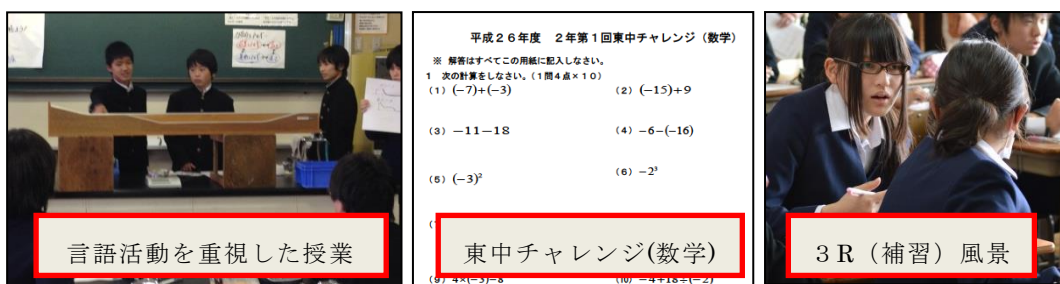
教科経営グランドデザイン例



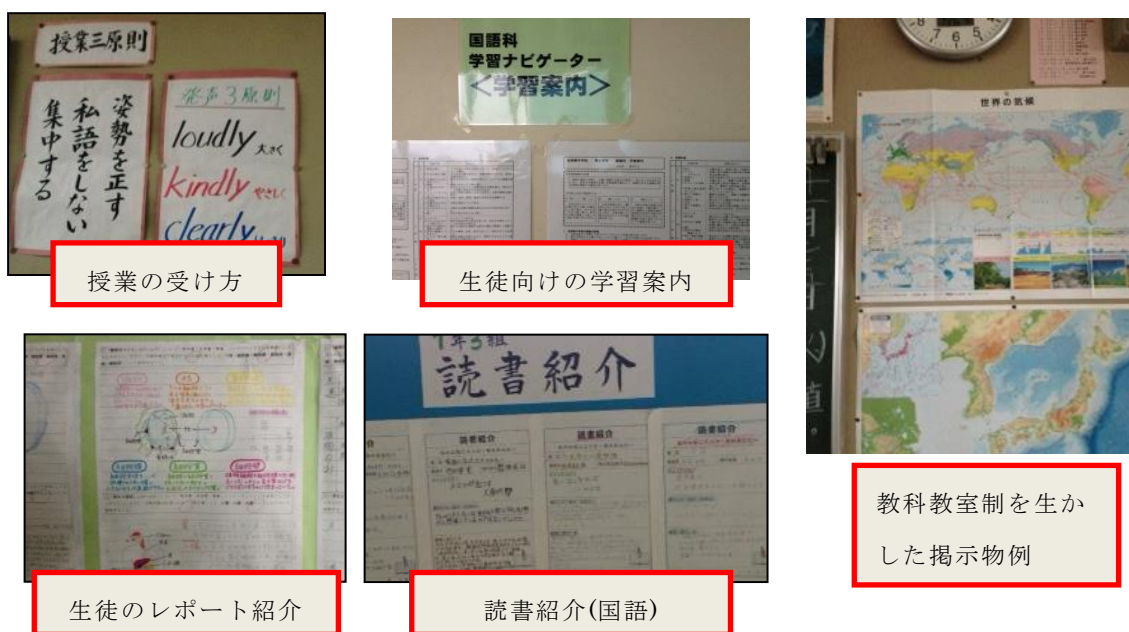
- イ 外部より指導者を招聘し、講演会を実施したことにより、本校の研究の成果と課題を明らかにすることができ、今後の研究内容について、より深く検討することができた。

6月9日	講演会テーマ「学力向上」 指導者 東部教育事務所 指導主事 平田 富美代 先生 指導主事 舘野 俊之 先生
8月4日	講演会テーマ「言語活動の充実と学力の向上」 指導者 国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官 杉本 直美 先生
11月12日	講演会テーマ「思考力・判断力・表現力等を育成する 指導と評価の視点」 指導者 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 主任指導主事 塚田 昭一 先生

ウ 日々の授業や朝自習、東中チャレンジ、補習、家庭学習等の取組により、生徒の学ぶ意欲の向上が図られ、基礎的・基本的な学力の向上が見られた。



エ 各研究部会や教科部会での話し合いを通して、教科教室の活用方法や授業における東中スタイルを検討することができ、今後の研究授業に向けても計画的に進めることができた。



## (2) 課題

- ア 学習指導の工夫・改善を目指した全教科、全教員による研究授業の取組、「東中スタイル」〔導入での課題意識の設定(ねらい・見通し)、展開での言語活動、まとめでの振り返り〕を意識した着実な実践を行う。
- イ 教科教室の活用方法や家庭学習の定着の取組については、今後も引き続き検討し、改善を図っていく。